（様式：小学校用）

令和４年度　学校図書館基本計画・評価シート

足立区立寺地小学校　校長　　立野　豊

１　学校教育目標

① 進んで考える子ども
② 責任をもって働く子ども
③ 健康で明るい子ども
④ 礼儀正しい子ども

２　学校図書館の目標・ねらい　ー身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度ー

① 児童の読書への意欲を高め、豊かな心情と幅広い知識を身に付けることができるようにする。
② 児童が多様な資料から目的に応じた情報を選んで課題解決する能力を伸ばすことができるようにする。
③ 児童がさまざまな授業で本に触れることで、日常的に本に親しむ機会を増やすことができるようにする。
④ 教員が学校図書館及び校内の図書にかかわる環境を整え、児童の読書に対する意欲を高めることができるようにする。

３　学校図書館の現状（令和３年度末）

蔵書状況

① 蔵書数　9，333 冊（蔵書基準冊数 8,358 冊）／ 蔵書率 110.9%（元年度末　103.7%）
② 新規購入図書　284 冊　／　廃棄図書　64　冊　／増減冊数　220 冊

分類	総記 0 類	哲学 1 類	歴史 2 類	社会 3 類	自然 4 類	技術 5 類	産業 6 類	芸術 7 類	言語 8 類	文学 9 類
蔵書構成割合	2.1%	1.3%	5.7%	6.9%	11.8%	3.7%	3.2%	6.6%	4.1%	54.6%
＊国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%

利活用の状況

① 開館時間：　授業時、月曜日・木曜日（中休み、昼休み）
② 児童一人あたりの年間平均貸出冊数　50.8 冊（前々年度末：　57.7 冊）
③ １か月に２冊以上読む児童　89.7%（前々年度末：　91.3%）

（令和４年度末）

蔵書状況

① 蔵書数　9,913 冊（蔵書基準冊数　8,358 冊）／ 蔵書率　118.6%
② 新規購入図書　492 冊　／　廃棄図書　137 冊　／増減冊数　355 冊

分類	総記 0 類	哲学 1 類	歴史 2 類	社会 3 類	自然 4 類	技術 5 類	産業 6 類	芸術 7 類	言語 8 類	文学 9 類
蔵書構成割合	1.7%	1.3%	6.1%	6.5%	12.7%	5%	2.7%	6.5%	3.6%	53.9%
＊国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%

利活用の状況

① 開館時間：授業時、月・木（中休み・昼休み）　（前年度からの変更 なし）
② 児童一人あたりの年間平均貸出冊数　47.3 冊（前年度末：　50.8 冊）
③ １か月に２冊以上読む児童　89.6%（前年度末：　89.7%）

４　目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第１学年

① 児童が読みものに興味をもち、すすんで読書しようとする意欲を高める。
② 児童が学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用する態度を育てる。

今年度の成果目標	達成基準
① 児童が学校図書館をすすんで利用し、いろいろな種類の本にたくさんふれる。 ② 児童が学校図書館の利用の仕方について知る。	① 児童が読書週間を利用して、年間一人あたり、５０冊以上の本を読む。 ② 図書館支援員が図書館利用に係る事前指導を前期に実施する。

目標達成状況

① 担任が週に一度図書室利用の時間を設けることで児童はすすんで本に触れることができ、ほとんどの児童が５０冊以上本を読むことができた。
② 担任と支援員が図書室の利用の仕方について指導することで、図書室の使い方を身に付けて利用することができた。

第２学年

① 児童がいろいろな読み物に興味をもち、すすんで読書しようとする意欲を高める。
② 児童が学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用する態度を育てる。

今年度の成果目標	達成基準
① 児童が自分の興味ある本を探して、読書することができる。 ② 児童が学校図書館の利用の仕方を守り、読書をすることができる。	① 児童が読書週間を利用して、年間一人あたり、５０冊以上の本を読む。 ② 図書館支援員が図書館利用に係る事前指導を前期に実施する。

目標達成状況
① 担任が週に一度図書室利用の時間を設けることで児童はすすんで本に触れることができ、ほとんどの児童が５０冊以上本を読むことができた。 ② 担任と支援員が図書室の利用の仕方について指導することで、図書室の使い方を身に付けて利用することができた。

第３学年	① 児童がいろいろな読み物に興味をもち、幅広く読書しようとする意欲を高める。 ② 児童がきまりを守り、すすんで学校図書館を利用する態度を養うとともに、資料や情報を集める力を育てる。

今年度の成果目標	達成基準
① 児童が自分の興味のある本に親しむとともに、友達が読んでいる本など、違う分野の本を読むことができる。 ② 児童が学校図書館の利用の仕方を守り、読書をすることができる。	① 児童が読書週間を利用して、年間一人あたり、３０冊以上の本を読む。 ② 図書館支援員が図書館利用に係る事前指導を前期に実施する。

目標達成状況
① 担任が週に一度図書室利用の時間を設けることで児童はすすんで本に触れることができ、ほとんどの児童が３０冊以上本を読むことができた。 ② 担任と支援員が図書室の利用の仕方について指導することで、図書室の使い方を身に付けて利用することができた。

第４学年	① 児童がいろいろな読み物に興味をもち、幅広く読書しようとする意欲を高める。 ② 児童がきまりを守り、学校図書館をすすんで利用する態度を養うとともに、多様な資料や情報を集める力を育てる。

今年度の成果目標	達成基準
① 児童が自分の興味のある本を読むとともに、友達が読んでいる本など、違う分野の本についても読書することができる。 ② 児童が学校図書館の利用の仕方を守り、読書することができる。	① 児童が読書週間を利用して、年間一人あたり、４０冊以上の本を読む。 ② 図書館支援員が図書館利用に係る事前指導を前期に実施する。

目標達成状況
① 担任が週に一度図書室利用の時間を設けることで児童はすすんで本に触れることができ、ほとんどの児童が４０冊以上本を読むことができた。 ② 担任と支援員が図書室の利用の仕方について指導することで、図書室の使い方を身に付けて利用することができた。

第５学年	① 児童が適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする意欲を高める。 ② 児童がきまりを守り、学校図書館をすすんで利用する態度を養うとともに、計画的に資料や情報を収集し、適切に活用する力を育てる。

今年度の成果目標	達成基準
① 児童が興味のある事柄や調べたい事柄について、適切な本を選び、読書することができる。 ② 児童が学校図書館の利用の仕方について、より利用しやすい方法について考えることができる。	① 児童が読書週間を利用して、年間一人あたり、２０冊以上の本を読む。 ② 図書館支援員が図書館利用に係る事前指導を前期に実施する。

目標達成状況
① 担任が図書室の利用を奨励したことでほとんどの児童が２０冊以上本を読むことができた。 ② 担任と支援員が図書室の利用の仕方について指導することで、児童は図書室の使い方を身に付けて図書室を利用することができた。

第６学年	① 児童が適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする意欲を高める。 ② 児童がきまりを守り、学校図書館をすすんで利用する態度を養うとともに、計画的に資料や情報を収集し、適切に活用する力を育てる。

今年度の成果目標	達成基準
① 児童が興味のある事柄や調べたい事柄について、適切な本を選び、読書することができる。 ② 児童が学校図書館の利用の仕方について、より利用しやすい方法について考えることができる。	① 児童が読書週間を利用して、年間一人あたり、２０冊以上の本を読む。 ② 図書館支援員が図書館利用に係る事前指導を前期に実施する。

目標達成状況

① 担任が図書室の利用を奨励したことで、ほとんどの児童が２０冊以上本を読むことができた。
② 担任と支援員が図書室の利用の仕方について指導することで、児童は図書室の使い方を身に付けて図書室を利用することができた。

５　学校図書館環境整備に関する取組計画・方針及び成果・効果

取組計画・方針	成果・効果
【蔵書・配架等に関すること】 ① 調べる学習ができるように図書購入計画を立てて図書の本を購入する。 ② 図鑑は、各学年の学習状況に合うものを配架できるように、毎年少しずつ新しい本を購入していく。 ③ 新規購入図書の受入れや登録作業を１２月に終える。	① 調べる学習ができるように図書購入計画を立てて図書の本を購入した。 ② 図鑑は、各学年の学習状況に合うものを配架できるように、少しずつ新しい本を購入し、各学年で活用できた。 ③ 計画的に購入図書を登録した。
【学校図書館支援員との連携・協働】 ① 学校図書館オリエンテーションの実施やブックトークなど、支援員の支援を受ける。 ② 調べ学習など授業に必要な資料を支援員に相談したり、準備を依頼したりする。	① 学校図書館オリエンテーションの実施やブックトークなど、支援員の支援を受け、児童の興味・関心を高められた。 ② 調べ学習など授業に必要な資料を支援員に相談したり、準備を依頼したりした。
【その他】 ① 読書週間には、貸出冊数を３冊から５冊に増やし、読書量を増やす。 ② 年度始めに、各学級に図書室の本を２０冊貸出し、学級文庫の充実を図る。	① 読書週間には、貸出冊数を３冊から５冊に増やし、期間中の児童の読書量が増えた。 ② 年度始めや節目に、各学級に図書室の本を２０～３０冊貸出し、学級文庫の充実を図ることができた。

６　学校図書館運営全体に関する自己評価（成果・課題・改善の方向性等）

・児童がより多くの本に親しむことができるよう、読書活動と連動して本の紹介や購入ができた。
・児童が希望した本の多くを購入し、児童が読みたい本を新規購入図書として配架することができた。
・図鑑や百科事典など、古い図書を学級文庫や廃棄に回し、図書室内の本の更新をすることができた。
・支援員との連携を強化し、コロナ禍においてもブックトークや読み聞かせ、資料集めなどの支援を受けることができた。

７　学校図書館の取り組みに対する評価・要望等（学校関係者から）

今後は感染症対策を講じながらさらに図書ボランティアとの連携を図り、児童の図書館利用を推進することが求められる。